

放射性物質環境動態調査事業報告会

放射線科学から見る 福島環境とその展望

令和元年

9月9日 9:30~16:00

事前申込を
メール・FAXにて
受付けます

当日参加可能

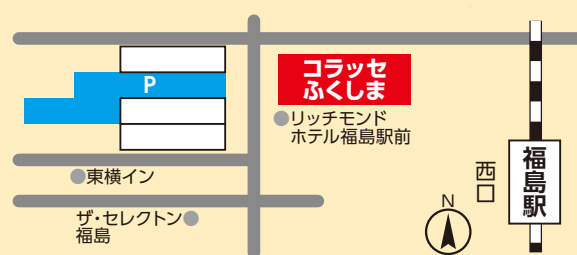
会場

コラッセふくしま

福島県福島市三河南町1番20号
● 3階企画展示室(ポスター発表)
● 4階多目的ホール(講演会)

高度被ばく医療センター
福島再生支援研究部

TEL / 043-206-3056 FAX / 043-206-3263
E-mail / fukushima-houkoku@qst.go.jp
URL / http://www.nirs.qst.go.jp/



1

10:05-12:05 放射性物質環境動態調査事業の成果概要について

座長: 山田 裕

<環境調査研究を支える技術>

ストロンチウム-90の新たな分析法について

サファー サラタ クマール

<陸や海的环境を考える>

福島の陸や海の放射性物質の分布や動きについて

青野 辰雄

<環境への影響を考える>

福島の野生生物の放射線影響について

府馬 正一

<今後受ける線量を考える>

日常生活で受ける線量の見積りについて

矢島 千秋

2

12:30-14:00 放射性物質環境動態調査事業の成果について

ポスター発表・立会い説明

3

14:00-14:50

特別講演

「福島での健康リスクと価値: 調査の意義、対話の意味」

福島県立医科大学医学部 村上 道夫先生

4

15:00-15:50

総合討論

放射線科学から見るこれからの福島

座長: 日本科学未来館 池辺 靖氏

主催

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
量子医学・医療部門 高度被ばく医療センター

後援

文部科学省、福島県、
公立大学法人福島県立医科大学、
日本放射線影響学会、日本放射化学会